

# 2023年度 幼稚園自己評価

日南飴肥カトリック幼稚園

「できている」ことが…A:8割以上 B:5割以上～8割未満 C:2割以上～5割未満 D:2割未満

教育保育方針・宗教教育について			
I	評価の主な観点	主な取組	評価(案)
1	本園の理念を踏まえ、めざす子ども像を意識した教育保育を行っている。	○全職員参加の研修会を複数回設けたり、めざす子ども像の具体的な姿をすり合わせたりして共通理解を図った。 ○毎月の聖書の時間を中心とした宗教教育を計画的に行った。 ●お祈りや賛歌の意味を丁寧に伝えていく。	B
2	カトリックの精神に基づいた宗教教育を実践している。		
指導計画の作成について			
II	評価の主な観点	主な取組	評価(案)
1	発達の見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮しながら、計画的に教育保育を行っている。	○指導計画の様式を見直し、次の活動への繋がりがより明確になるような内容とした。 ●保護者や地域にも幼児教育の価値と重要性が発信できるような記録と評価が実現できるように工夫していきたい。(ドキュメンテーション)	B
2	めざす子ども像を意識して、年齢に応じた自己決定の場を設けている。		
防災教育について			
III	評価の主な観点	主な取組	評価(案)
1	常に防災・安全マニュアルを整備し、防災備品の充実に努めている。	○毎月避難訓練を実施し、職員の役割分担を見直しながら非常時に備えている。 ○AEDや見守りカメラ、地震速報システムや電磁錠システムの定期点検を行い、施設の充実に努めている。 ●様々なケースを想定した訓練方法や機材を工夫する必要がある。 ●BCPの作成や見直しを進める必要がある。	B
2	訓練の結果を振り返り、次に生かすようにしている。		
環境・安全管理について			
IV	評価の主な観点	主な取組	評価(案)
1	安全で衛生的な環境が整えられ、備品等も効率的、かつ安全に配置されている。	○役割分担や情報の共有法を見直し、安全な環境がさらに整いつつある。 ○保育理念を踏まえた遊具、玩具の整備が徐々に進んでいる。 ○対応マニュアルの見直しや、外部研修を通して対応力向上を図った。 ●定期的にマニュアルの確認をする。	A
2	必要な玩具・遊具、非常時の備蓄が整備されている。		

行事について			
V	評価の主な観点	主な取組	評価(案)
1	本園の方針に沿った具体的なねらい及び内容が明確にされている。	○主な行事についてはアンケートを実施して保護者の意見も聞きながら改善に努めている。 ○役割分担を明確にし、子ども主体の行事となるよう内容の充実を図った。 ●地域とのつながりも更に工夫したい。	B
2	実施後は反省をし、次へ生かすようにしている。		
情報管理・発信について			
VI	評価の主な観点	主な取組	評価(案)
1	各種たよりを定期的に発行し、保護者の理解を得る努力をしている。	○各種たよりに加え、ホームページやFacebook、Instagramも活用し、日常の保育の様子や行事案内に関する情報発信を行っている。また、急ぎ知らせる必要がある情報は、メールを活用して迅速な提供を心がけている。 ○セキュリティに関する研修を行い、情報の適切な管理に努めている。 ●災害時の連絡方法を複数確立する必要がある。	A
2	行事や園の取組など、必要な情報が適切に発信されている。		
子育て支援について			
VII	評価の主な観点	主な取組	評価(案)
1	ひよこクラブの内容を工夫しながら計画的に実施している。	○未就園児向けのひよこクラブと園庭開放を年間を通して実施できた。利用者も毎回ほぼ定員いっぱい、取り組みが地域に評価されつつあると感じる。 ●子育て家庭の悩みや不安解消に貢献できるよう、ニーズにあった支援内容を工夫していきたい。	B
2	各種たより、HPやFB等で子育て支援に関する情報を発信している。		
人権・特別支援教育について			
VIII	評価の主な観点	主な取組	評価(案)
1	偏見や差別的な言動、掲示物には十分注意している。	○特に配慮が必要な園児に対して有効な支援ができるよう、研修内容の充実を図り、関係機関とも連携を密にしている。 ○発達支援事業開始を目前にして、職員の意識も高まっている。 ●職員研修をさらに充実させ、全職員が同じ姿勢で保育に当たれるよう、共通理解、共通実践の徹底を図りたい。	B
2	一人一人の立場に寄り添った対応をしようと努めている。		

衛生・食育について			
IX	評価の主な観点	主な取組	評価(案)
1	給食やおやつの献立や量は適切である。	○塩こうじを使ったり、添加物の少ない食材を選ぶことで、さらに体によい給食を提供できるようになってきた。	A
2	感染症やアレルギーへの対応は適切である。	○アレルギー対応の除去食に関する事故がないよう、共通理解の仕方を工夫したり、別の食器を準備したりしている。 ●保護者もまきこんだ食育に取り組み、食の大切さを共に考える雰囲気を作りたい。	

小学校・地域・保護者連携について			
X	評価の主な観点	主な取組	評価(案)
1	小学校と連携した取組を行っている。	○運動会や発表会、参観日等は、ねらい達成と安全確保のバランスを考慮しつつ、制限を基本的に撤廃する方向で実施ができた。	B
2	地域と連携した活動を行っている。(感謝訪問、施設訪問、収穫体験)	○飫肥地区の幼保小連携を図る取組は、感染症により一部計画変更となったが、久しぶりに職員対面での情報交換もでき有意義であった。今後も小1プロブレム解消に向けて連携を進めていきたい。	
3	保護者(会)との細かに連携を図っている。	●引き続き「子どもがいる社会のよさ、豊かさ」を伝えていけるような取組を進めたい。	

評議員の皆様からのご意見(要旨)

- 情報発信を丁寧におこなっており、園の方針や取組が保護者によく発信されている。今後も保護者の思いに寄り添いながら、子どもも含めた一人一人の声に耳を傾け、子どもの育ちを保護者と二人三脚で支え続ける園であってほしい。
- カトリック園として、心の教育のさらなる充実を図ってもらいたい。また、その内容を子ども達の具体的な姿として、お便りやHP、Facebook、Instagramでも引き続き発信に努め、教育保育理念を保護者と十分に共有できる園を目指していただきたい。
- 職員研修の充実は、教育・保育の質を向上させる上で大変重要な取組である。時間確保が難しいであろうが、内容を工夫しながら取り組んでいてもらいたい。
- 他園や小学校との交流は、園で培った力をさらに伸ばし、小学校生活をスムーズにスタートさせる上で大変重要な取組であると評価できる。地域との繋がりがやや希薄に感じられるので、様々な機会を通じて近隣住民との交流も工夫し、地域に愛され、子どものいる社会のよさを発信できる園であってほしい。